

東京放射線

Tokyo Association of Radiological Technologists

2021年

9月号

Vol.68 No.797

巻頭言

with／afterコロナ 白木 尚

会 告

日本診療放射線技師会の永年勤続表彰について

第37回日本診療放射線技師学術大会

第23回アジアオーストラレーシア地域診療放射線技師学術大会

第28回東アジア学術交流大会

報 告

公益社団法人東京都診療放射線技師会 第72回定期総会(抄)

2020年度 特別功労賞・功労賞・労働精励賞(勤続20年表彰)・

小野賞・地域功労賞 受賞者

連 載

[消化管造影検査] 第4部 消化管精密検査シリーズ

第1回 食道精密X線検査 鵜沼清仁

研修会等申込書

登録事項変更届



公益社団法人東京都診療放射線技師会
<https://www.tart.jp/>

目 次

診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言 with／afterコロナ	副会長 白木 尚 3
会告1 日本診療放射線技師会の永年勤続表彰について	涉外委員会 4
会告2 第37回日本診療放射線技師学術大会	
第23回アジアオーストラレーシア地域診療放射線技師学術大会	
第28回東アジア学術交流大会	5
お知らせ1 東放技 Web開催研修会等受講方法について	学術委員会 8
お知らせ2 2020年度新入会員に対する入会特典について	10
お知らせ3 東放技会員所属地区のご案内	情報委員会 11
報 告	
公益社団法人東京都診療放射線技師会 第72回定期総会(抄)	12
2020年度 特別功労賞・功労賞・労働精勵賞(勤続20年表彰) ·	
小野賞・地域功労賞 受賞者	19
連 載 [消化管造影検査] 第4部 消化管精密検査シリーズ	
第1回 食道精密X線検査	鵜沼清仁 20
こ え	
・「第122回日暮里塾ワンコインセミナー」に参加して	長内純平 25
・フレッシャーズセミナーに参加して	坂本莉子 26
2021年4月～6月期会員動向	27
パイプライン	
・日本診療放射線技師連盟ニュース (2021 No.6)	28
・日本診療放射線技師連盟ニュース (2021 No.7)	29
・『経鼻栄養チューブの安全な管理をふりかえる』セミナー	30
2021年度第3回理事会報告	32
2021年度第4回理事会報告	35
研修会等申込書	38
登録事項変更届	39

Column & Information

・求人情報	27
・東放見聞録	34

スローガン
チーム医療を推進し、
国民及び世界に貢献する
診療放射線技師の育成

診療放射線技師 業務標準化宣言

いま我が国では「安心で安全な医療の提供」が国民から求められている。そして厚生医療の基本である「医療の質の向上」に向けて全ての医療職種が参加し、恒常的に活動をする必要がある。

私達が携わる放射線技術及び医用画像技術を含む診療放射線技師業務全般についても、国民から信頼される普遍的な安全技術を用いて、公開しなくてはならない。そして近年、グローバルスタンダードの潮流として、EBM (Evidence Based Medicine)、インフォームドコンセント、リスクマネジメント、医療文化の醸成、地球環境保全なども重要な社会的要項となっている。

公益社団法人東京都診療放射線技師会では、『国民から信頼され選ばれる医療』の一員を目指し、診療放射線技師の役割を明確にするとともに、各種業務の標準化システム構築を宣言する。

診療放射線技師業務標準化には以下の項目が含まれるものとする。

1. ペイシェントケア
2. 技術、知識の利用
3. 被ばく管理（最適化／低減）
4. 品質管理
5. 機器管理（始終業点検／保守／メンテナンス）
6. 個人情報管理（守秘／保護／保管）
7. 教育（日常教育／訓練／生涯教育）
8. リスクマネジメント
 - ～患者識別
 - ～事故防止
 - ～感染防止
 - ～災害時対応
9. 環境マネジメント（地球環境保全）
10. 評価システムの構築

公益社団法人東京都診療放射線技師会

卷頭言



with/afterコロナ

副会長 白木 尚

新型コロナウイルスの世界的パンデミックから1年以上経過した今でも、未だ感染収束の気配はなく、今日現在、東京都の感染者が4,000人を超えて記録的な拡大となっています。先の見通しが難しい状況が続いているが、制限のない生活ができる日が待ち遠しくて…待ち遠しくて、そのために今の行動制限を徹底している今日この頃です。「今はとにかく我慢してください」と言われ続けていますが、「我慢」ではつらくなるので、新しい生活を許容していく必要があるのではないかでしょうか。

近頃メディアでもよく耳にする“withコロナ”、“afterコロナ”という言葉。緊急事態宣言が解除されても、新しい生活様式を取り入れて新型コロナウイルスと共存（withコロナ）していかなくてはなりませんし、また、治療薬やワクチンが量産された後の、コロナ後の世界（afterコロナ）では、この未曾有の経験を経て、特定の意識・価値観や行動様式は変化したまま元には戻らないだろうといわれています。ここでwith/afterコロナの世界において、生活者の意識・行動に新たに定着するNew Normal（新しい日常）という提案（株式会社インテージのリサーチャーやアナリストたちが、調査・分析・ワークショップを通して導出した9つのテーマ）を紹介します。中期的なwithコロナ3項目と、長期的なafterコロナ6項目の、合計9つの重要なテーマが導き出されています。中期的なwithコロナのテーマとしては、①より快適なおうち時間②回数を減らして・ストックする買物③感謝・支援活動、の3項目に集約されています。裏付けとなる具体的な変化としては、①滞在場所・食シーン・飲酒シーンの変化②備蓄・買いだめの増加③医療従事者の疲弊・飲食関係等特定産業従事者の収入減。そして長期的に続く、afterコロナのテーマとしては、①予防・衛生 vs エコ・環境②買物行動の変化③日常生活の更新④働き方の見直し⑤SNSの影響力拡大⑥政府と企業への監視の目、の6項目に集約されています。裏付けとなる具体的な変化としては、①マスクや消毒等予防衛生意識の高まり②ネット通販・宅配の利用増加定着と節約意識の高まり③オンラインコンテンツ（ゲーム・エクササイズ・エンタメ）の充実と浸透による自宅で楽しむ選択肢の拡大④テレワーク・副業や個人投資の増加⑤情報リテラシーの重要性が上昇⑥企業を評価する視点の変化（社会貢献）・政府の行動への関心の高まり、と示されています。今後も長期化しそうな新型コロナウイルスとの闘いに備えながら生活を続けていく上で、影響が大きいNew Normalの9大テーマを参考にしていただけたら幸いです。

本会としては、コロナ禍で進化したオンライン会議やオンラインセミナーは、さらに充実させた内容で定番となることが予想されます。また、以前のように対面での活動が復活できれば、対面ならではの大切なことを感じて、さらに元気に活動ができるのではないかと思っています。

第37回日本診療放射線技師学術大会（11月12日～14日）は、開催まで2カ月となりました。演題募集について、なかなか目標演題数に達しない中、再度の延長をさせていただき、皆さまのご協力により目標の演題数が集まりました。ありがとうございます。おかげさまで充実したプログラムとなりました。皆さまの研究成果を視聴できること、楽しみしております。withコロナの中で開催する本学術大会は、「来場型」と「オンライン型」で同時開催するハイブリッド方式で準備を進めています。「オンライン型」では、遠方で参加が困難な方々の参加が容易になることや、交通宿泊費の節約や時間の節約ができますし、また、ライブ配信やオンデマンド配信に加えて、可能な範囲でアーカイブ配信のサービスも検討しています。オンラインならではのメリットです。「来場型」を同時開催するのは、やはり研究発表に対して、直接ディスカッションすることは有用ですし、ここ最近成し得なかった交流も可能な範囲で行いたいという思いがあります。コロナウイルスの感染状況の変化に合わせて、できる限り多くの方々がご来場できるような開催を目指します。本学術大会がNew Normalへの方向性の一助になればと思っています。学術大会の詳細につきましては、本会ホームページの、特に「学会の見どころ」を閲覧いただけたら幸いです。事前参加登録は9月30日までとなっております。ハイブリッド開催は、現地・オンラインとともに費用が発生するため、多額な費用がかかってしまいますので、ぜひとも多くの皆さまのご参加により助けていただけたら幸いです。プログラムについてもご期待ください。

国政に診療放射線技師を代表して登院することが叶い2年が経過しました。国会質疑では診療放射線技師という名称をたびたび発言され、新聞紙面には診療放射線技師衆議院議員と掲載してアピールされています。その結果として、特に国会議員の間では認識度が上がるなど大きく躍進しました。詳細はぜひ、日本診療放射線技師連盟ホームページを閲覧ください。診療放射線技師の国会議員の存在が、どれだけ大きいか計り知れません。私見ですが、今後も診療放射線技師の代表として国政で活躍していただくためには、私たち診療放射線技師一人一人の支援が不可欠だと考えます。それは、診療放射線技師職の未来のために、後進のために。

会 告

1

日本診療放射線技師会の 永年勤続表彰について

渉外委員会

日本診療放射線技師会より本会に対し、標記について永年勤続表彰候補者の推薦依頼がありました。本年度の資格到達者は本会で調査致しますが、調査漏れなどにより令和3年9月17日までに本会から連絡がない方、または前年度までに資格到達された方で受賞の意思のある方は、お手数ですが令和3年9月30日までに下記問い合わせ先までご連絡いただければ幸甚に存じます。

規程内容分旨

【永年勤続表彰30年】

1. 令和4年3月31日現在において放射線関連業務に従事して勤続30年以上であること（診療エックス線技師または診療放射線技師免許取得が平成4年3月31日以前の方）
2. 平成20年3月31日（平成19年度）以前までに入会し引き続き日本診療放射線技師会会員であること（15年以上継続会員）

【永年勤続表彰50年】

1. 永年勤続表彰30年を受けたのち継続して日本診療放射線技師会に在籍し、診療放射線技師又は診療エックス線技師免許取得後50年を経過した者（診療エックス線技師または診療放射線技師免許取得が昭和47年3月31日以前の方）

留意事項

1. 推薦の時点で令和3年度の会費を完納していること
2. 永年勤続表彰30年は日本診療放射線技師会指定の履歴書「様式第5号」の提出が必要
(勤続年数の審査は、提出書類に基づき行われます。書類に記載されていない勤務歴情報は勤務年数としてカウントされません。)

問い合わせ：渉外委員長 高野修彰 E-Mail : shougai@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724

以上

第37回日本診療放射線技師学術大会

第23回アジアオーストラレーシア地域診療放射線技師学術大会

第28回東アジア学術交流大会

『国民と共にチーム医療を推進しよう

～技術の多様性と人の調和』

期　　日：2021年11月12日（金）・13日（土）・14日（日）

会　　場：東京ビッグサイト（〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1）

主　　催：公益社団法人日本診療放射線技師会

実　　施：公益社団法人東京都診療放射線技師会

事前参加登録期間：2021年4月1日（木）から9月30日（木）まで

第37回日本診療放射線技師学術大会 参加費

正会員 事前登録費 10,000円 当日登録費 14,000円

非会員 事前登録費 15,000円 当日登録費 18,000円

学 生 事前登録費 2,000円 当日登録費 2,000円

(学生：学部学生のみ)

【事前参加登録 URL】

<http://web.apollon.nta.co.jp/37jcrt/jizensanka.html>

第23回アジアオーストラレーシア地域診療放射線技師学術大会／

第28回東アジア学術交流大会 参加費（第37回日本診療放射線技師学術大会の参加可）

事前登録費 150米ドル 当日登録費 200米ドル

【事前参加登録 URL】

<http://web.apollon.nta.co.jp/23aacrt/>

以上



AACRT/EACRTに参加しよう

11月12日から開催される第37回日本診療放射線技師学術大会は、23rd AACRTと28th EACRTが同時開催されます。

AACRT (Asia-Australasia Conference of Radiological Technologists) は ISRRT (International Society of Radiographers and Radiation Technologists) の一支部のようなもので、他に Americas、Europe、Africaがあります。

AACRT (アジアオーストラレーシア地域診療放射線技師学術大会) は2年に一度開催され、前回の2019年はオーストラリアでの開催でした。AACRTは地域の国際大会で今回は日本開催です。そして次回の開催は2023年にマレーシアです。

EACRT (East Asia Conference of Radiological Technologists) は東アジア学術交流大会で、こちらは3年に一度、日本診療放射線技師学術大会で同時開催されているので皆さまもなじみが深いかと思います。

今年はAACRT/EACRTの国際大会が同時開催となります。残念ながらCOVID-19の感染拡大の影響でWeb開催のため、海外からの参加者との交流はできませんが、国内で開催される国際大会ですので、国際大会を身近に感じるチャンスです。

AACRT/EACRT参加者は、37JCRTの全てのプログラムに参加できます。37JCRTのみの申し込みではAACRT/EACRTプログラムには参加できません。ぜひ、AACRT/EACRTに参加をされてみてはいかがでしょうか。

【参加登録方法】

- ① <http://web.apollon.nta.co.jp/23aacrt/> にアクセス
- ② 左側のメニュー「Registration」をクリック
- ③ 「Registration」→「JART Member」→「Sign-in as JART Member」の順にボタンをクリック
- ④ 図1のウインドウでJARTIS登録アドレスと生年月日を入力
- ⑤ 図2の画面になるので、「Registration」ボタンをクリック
- ⑥ 英語で氏名と施設名を入力し、「Submit」ボタンをクリック
- ⑦ 「Pay with stripe checkout」ボタンをクリック
- ⑧ クレジットカード情報を入力し「\$150.00を支払う」ボタンをクリック

これで終了です。

再度 Sign-in して「Already Registered」と緑色で表示されればOK！

Sign-in for JART Member

Email

Birthday (MM/DD/YYYY)
 JAN 1 1970

Sign-in

Back to home

図1

12 - Nov 14, 2021
TOKYO BIG SIGHT

President
Katsuhiko Ueda, President of JART

Chairman
Kenichi Shinohara, President of TART

Registration Abstract My Page

図2



第37回 日本診療放射線技師学術大会

37th Japan Conference of Radiological Technologists

第23回 アジアオーストラレーシア地域診療放射線技師学術大会
(23rd AACRT)

第28回 東アジア学術交流大会 (28th EACRT)

国民と共にチーム医療を推進しよう

Lets promote team medical care with the nation

技術の多様性と人の調和

Diversity of technology and Harmony of people

■ 2021年11月12日(金) ▶ 14日(日)

■ 東京ビッグサイト



〈Web併用〉

会長
President

上田 克彦 Katsuhiko UEDA
公益社団法人 日本診療放射線技師会会长

大会長
Chairman

篠原 健一 Kenichi SHINOHARA
公益社団法人 東京都診療放射線技師会会长

■運営事務局

公益社団法人東京都診療放射線技師会
<http://web.apollon.nta.co.jp/37jcrt/>
E-mail: taikai2021@tart.jp

主催 公益社団法人 日本診療放射線技師会
共催 公益社団法人 東京都診療放射線技師会
後援 厚生労働省(予定)
東京都(予定)

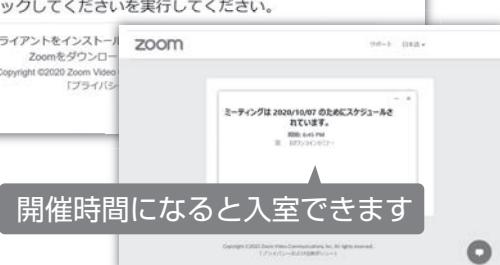
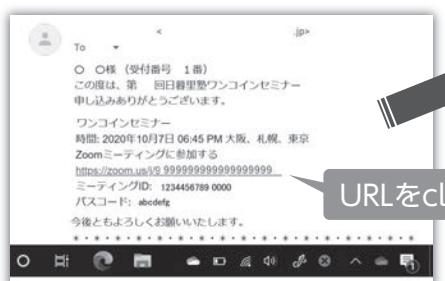
お知らせ

1

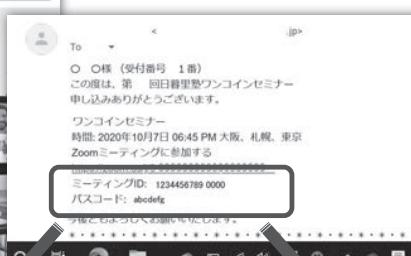
東放技 Web開催研修会等受講方法について

【Zoom参加手順】

メールURLより



Zoomホームページより

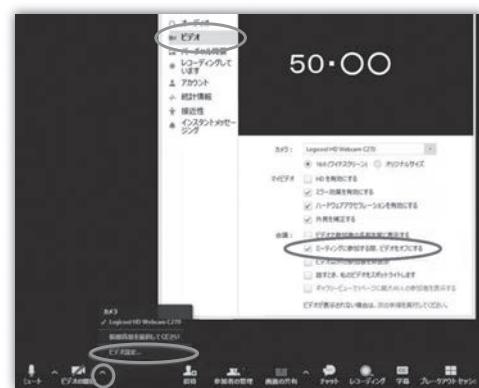


※注意点として

- ①「参加者」より
名前を入力してください



- ③「ビデオをオフにする」
にしてください



- ②「マイクをミュートにする」
にしてください



確認をお願い致します



当日はよろしくお願い致します

お知らせ 2

2020年度新入会員に対する入会特典について

新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、皆さまの健康と安全を第一に考慮しました結果、2020年2月より研修会などの活動を自粛してきました。

新卒かつ新入会員の皆さまが本来受けられる会員特典のひとつである、本会主催の一部研修会（下記参照）の無料受講が、2020年度においては実施されることが少なかった状況をみて、2020年度の新卒かつ新入会員の皆さまにおいては、2021年度も無料期間とすることに2020年度第3回理事会にて承認されたことをお知らせします。

【新卒かつ新入会員の受講料無料事業】

- ・サマーセミナー
- ・ワインターセミナー
- ・日暮里塾ワンコインセミナー
- ・東放技・東京支部合同学術講演会
- ・支部研修会
- ・地区研修会 等

※2021年度の新卒かつ新入会員の皆さまにおいては、本会規程の通り上記イベントは無料です。

以上

お知らせ 3

あなたはご自分の所属地区をご存じですか？

東京都診療放射線技師会は、東京を13の地区に分け、東京に隣接する千葉方面・神奈川方面・埼玉方面を加えた計16地区で構成されています。

本会ホームページ <https://www.tart.jp/> には各地区的表が掲載されています。

“当会の概要”から“支部・地区一覧表”をお選びください。

The screenshot shows the homepage of the Tart website. A large arrow points from the question "あなたはご自分の所属地区をご存じですか？" down to the "Branches and Region Catalog" section. This section includes the Tart logo, navigation links (一般の方へ, 当会の概要, 入会案内・各種手続き, 研修会・イベント情報, 求人情報), a contact form, and a "Branches and Region Catalog" table. The table lists three regions: Chuo (千代田区), Chiyoda (中央区, 台東区), and Minato (墨田区, 江戸川区, 江東区). Each entry has a "View Details" link. A second arrow points from the "地区紹介PDF" button to the "View Details" links in the catalog table.

城東支部	第1地区	千代田区	地区紹介
	第2地区	中央区、台東区	地区紹介
	第7地区	墨田区、江戸川区、江東区	地区紹介

地区紹介PDF

また、“地区紹介PDF”では各地区的特色や活動を写真入りで紹介しています。
こちらもぜひご覧ください。

情報委員会

公益社団法人東京都診療放射線技師会 第72回定期総会(抄)

日時：2021年6月19日(土) 15時00分～
会場：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター

鈴木総務委員長：只今より、公益社団法人東京都診療放射線技師会 第72回定期総会を開催致します。開会に先立ちまして、今回も新型コロナウイルス感染症防止対策を施しての総会になることをご認識ください。先ず初めに物故会員の方へ黙祷を捧げたいと存じます。2020年度物故者は小川 互様です、皆さまご起立願います。黙祷… ありがとうございました、ご着席ください。

それでは、初めに本会会長の篠原健一よりご挨拶を申し上げます。



篠原会長：東京都診療放射線技師会の篠原でございます。第72回定期総会開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。昨年そして今年と、2回続けて総会が代議員による書面表決方式という変則な方式となりましたことは、現今の新型コロナウイルス感染症対策上仕方のないこととはいえ、痛恨の極みであります。この場をお借りしてお詫び申し上げます。しかしながら、会員各位、代議員各位、総会運営委員会各位のご理解とご協力、役員・委員各位のご努力により、可能な限りの情報伝達、意思確認、意見集約が行われ、このような形ではありますが、開催できましたことを心より感謝申し上げます。

事業報告にもあります通り、昨年度の上半期は、対面方式の事業をほとんど中止または延期とさせていただきました。下半期からはオンライン方式にて、例年とほぼ変わらない頻度、内容にて事業を展開することができました。このことも、会員の皆さまのご理解・ご協力の賜

物であり、役員一同を代表致しまして御礼を申し上げます。

医療従事者から始まった新型コロナウイルスワクチン接種も着々と国民の皆さんに浸透されはじめ、オリンピック・パラリンピックについてはどのような事態となるか予断を許しませんが、本年11月に東京ビッグサイトで開催する第37回日本診療放射線技師学術大会、第23回AACRT、第28回EACRTについてはハイブリッド方式にて開催すべく、市川実行委員長を中心に希望と気概を持って準備に邁進しているところであります。本日から数えますと、開催まですでに150日を切って、あと146日となりました。演題募集締め切りまであと11日ありますので、1題でも2題でも登録を増やしていただきたく切にお願いする次第であります。その後、事前参加登録の期限も近づいてまいりますので、併せてお願いを申し上げ開催挨拶と致します。本日はよろしくお願ひ申し上げます。



鈴木総務委員長：篠原会長ありがとうございました。続きまして通常では、来賓よりご祝辞を頂くところですが、今回は、新型コロナウイルス感染症予防対策の一環で、来賓をお呼びすることを差し控えさせていただきました。

続きまして総会議事に先立ち表彰を執り行います。2020年度における、公益社団法人日本診療放射線技師会からの地域功労表彰、また、本会からの特別功労賞、功労賞、小野賞、労働精励表彰、学術奨励賞及び新人学術奨励賞の表彰と記念品の贈呈を執り行います。本来は、

担当理事が表彰者を発表するのですが、今回は私の方で代読させていただき、賞状・記念品の授与は郵送にて執り行わせていただきます。

それでは資料①をご覧ください。2020年度の表彰を行います。「地域功労表彰」こちらは公益社団法人日本診療放射線技師会 表彰規程 第10条による地域功労表彰です。これは、各都道府県診療放射線技師会の役員として、日本診療放射線技師会の発展に関し功績及び貢献が顕著であった方々に、公益社団法人日本診療放射線技師会より贈られます。石田秀樹さん、関 真一さん、浅沼雅康さんです。おめでとうございます。

続きまして「特別功労賞」です。本会表彰規程 第2条第2項第1号により特別功労賞の表彰です。工藤年男さん。経歴になりますが、1999年より第1地区理事を1期2年、2001年より総務理事を1期2年、2005年より第16地区理事を8期15年と述べ19年間の永きにわたり当会の役員を歴任され、適正な事業遂行と発展に尽力されました、おめでとうございます。

続きまして「功労賞」。本会表彰規程 第2条第2項第2号により功労賞の表彰です。関 真一さん。経歴でございますが、1993年より第10地区委員を5期10年、2003年より同理事を2期4年、2007年より同地区委員を2期4年、及び2011年より経理理事を5期9年と役員を13年、地区委員を14年間と永きにわたり当会の運営・活動に尽力されました、おめでとうございます。

続きまして「小野賞」。本会表彰規程 第2条第2項第5号により小野賞の表彰です。小野賞は多年にわたり本会活動ならびに地域医療に貢献された方々を対象に、各委員会からの推薦を受け、理事会の承認を受けた方々に贈られます。学術委員会：長谷川浩章さん、第3地区：田中志穂さん、第5地区：菊地克彦さん、第13地区：首藤 淳さん、おめでとうございます。

続きまして「労働精励賞」。本会表彰規程 第2条第2項第6号により労働精励賞の表彰です。労働精励賞は、20年以上放射線業務に精励し、会員として15年以上本会活動にご協力いただいた方々に送られます。志田晃一さん、松田紗代子さん、長谷川浩章さん、原田 崇さん、富岡英樹さん、伊藤宏和さん、松本浩治さん、永倉健司さん、中山郁恵さん、森田淳一さん、神部 藍さん、おめでとうございます。

続きまして、「学術奨励賞」ならびに「新人学術奨励賞」の表彰となります。昨年度は、関東甲信越診療放射線技師学術大会は、新型コロナ感染症の関係で中止となり、宮城県のWebで開催された、第36回日本診療放射線技師学術大会での発表16演題より、学術委員会で審議した結果、以下の方を表彰します。



「学術奨励賞」岡本淳一さん、東京医科大学病院。演題名「拡散強調像における multi slice同時励起を併用したReadout Segmented EPI画像の歪みの検討」です、おめでとうございます。

続きまして「新人学術奨励賞」三田知穂さん、社会医療法人財団大和会 東大和病院。演題名「災害時ID・バーコードを用いた、他職種を含めた患者管理とスループットの改善を目的とした有効性の検討」です、おめでとうございます。

「新人学術奨励賞」大塚竜登さん、新松戸中央総合病院。演題名「小児撮影におけるワークフローの見直し」です。各賞受賞の皆さん、おめでとうございます。以上をもちまして表彰を終了致します。

それでは、本総会の総会運営委員会の紹介をします。総会運営委員は総会運営規程により各支部から選出されております。総会運営委員として、富丸佳一さん、松本亘さん、古賀剛輝さん、中村浩英さん、磯崎拓己さんの以上5名です。総会運営委員長は、松本 亘さんです、よろしくお願ひします。

それでは本総会の総会運営委員会報告をお願い致します。松本総会運営委員長よろしくお願ひ致します。

松本総会運営委員長：松本より報告申し上げます。今回の総会は新型コロナウイルス感染症対策の一環として、書面表決方式を伴った総会形式としました。これは総務省からの指導、一般法人法第51条の規定に従った形で



す。また本会2021年度第1回理事会において理事会承認を得て行わることを申し付けさせていただきます。

総会運営委員会において検討を行い、全ての代議員が平等に適正な判断ができるよう代議員の皆さまへは事前に総会資料の送付を行い、ご質問・ご意見を述べることができる期間を設定し、回答をホームページ上で行い、書面表決を返信してもらうという形式を設け執行部に指示致しました。また総会議長に関しても、総会運営規程第4条第2項の規定により、立候補制となっていますので、事前に立候補を募り立候補者をホームページ上で公開し、信任投票を行う形式としました。

本会の代議員数は、退会、転出等の関係もあり、選挙管理委員会の確認のもと現在74名です。総会成立代議員数は、本会定款第21条により全代議員の過半数の出席者数で37名以上です。現時点での代議員の出席状況及び、書面表決出席状況をご説明致します。総会出席者数2名、書面表決数60名うち有効数59名、合計61名。従いまして、この第72回定期総会は成立することをご報告致します。

総会運営委員会委員長 松本亘。

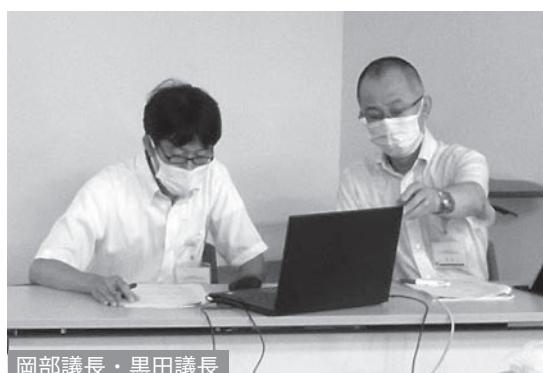
鈴木総務委員長：それでは、本総会の議長を選出したいと存じます。松本総会運営委員長お願い致します。

松本総会運営委員長：先程述べたように事前に立候補を募った議長候補者のお二人は、届出順に第6地区：岡部博之代議員、第13地区：黒田 誠代議員です。ここで会場参加代議員による信任投票を行います。両名を不信任される方は举手願います…0票です。信任なされる方は举手願います…2票です。郵送での信任投票も踏まえ、信任投票の結果は書面表決票での信任投票59票と会場での参加者2票となり、合計61票を獲得し過半数を得ております。よって代議員の信任を得たと判断し、総会運営委員会として議長への就任をお願い致します。

鈴木総務委員長：それでは岡部議長、黒田議長よろしくお願い致します。

両議長：第6地区の岡部です。第13地区の黒田です。よろしくお願い致します。

岡部議長：本日の議事録署名人は議長の岡部、黒田と全



出席理事及び監事となります。

今回の総会の報告事項「2021年度事業計画」、「2021年度予算」を岡部が担当し、第1号議案「2020年度事業報告(案)」、第2号議案「2020年度決算報告(案)」、「監査報告」、第3号議案「名誉会員推戴の件」を黒田議長に担当していただきます。

次に、総会の運営について総会運営委員会報告を、松本総会運営委員長よりお願いします。

松本総会運営委員長：総会運営委員会よりご報告申し上げます。只今の時刻は15時18分です。これより、報告1「2021年度事業計画」、報告2「2021年度予算」、第1号議案「2020年度事業報告(案)」、第2号議案「2020年度決算報告(案)」、「監査報告」、第3号議案「名誉会員推戴の件」の以上、報告から第3号議案までを16時20分までにご審議願います。総会運営委員会委員長 松本亘。

岡部議長：総会運営委員会の報告の通り、議事を進めさせていただきます。続きまして、議事の進め方についてお諮り致します。報告は報告をもって終了とし、議案は議案ごとに審議し、採決を行いたいと存じます。書面表決の結果をもって、採決の結果として対応したいと存じます。では、議事に入ります。それでは報告事項として「2021年度事業計画」「2021年度予算」をまとめてご説明をお願い致します。



篠原会長：2021年度事業計画についてご報告致します。本年度も、例年通りの公益・共益事業を展開する計画であります。開会の挨拶でも述べました通り、大きなものとして第37回日本診療放射線技師学術大会、合わせての第23回AACRT、第28回EACRTがございます。経験のない方式や先の見えない感染症対応・状況の変化などの要素による糺余曲折が予想されますが、今後の学術大会運営のあり方への大きな挑戦であり、市川実行委員長を中心と準備を進めております。また、診療放射線技師法の改正が含まれた「良質かつ適切な医療を効率

的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」が5月28日に公布となり、10月1日施行となりました。新たな業務拡大に伴う告示研修の実施も大きな事業の一つとなります。事業計画の総括、事業の各項目につきましては、会誌6月号17ページ以下をご覧いただきたいと思います。以上でございます。

岡部議長：続きまして関経理委員長、よろしくお願ひ致します。

関経理委員長：経理を担当しております、関と申します。どうぞよろしくお願ひ致します。2021年度の予算案ですが、代議員の皆さまには郵送で、会員の皆さまへは会誌6月号に掲載しております。その概略を説明させていただきます。事業計画にもありましたように創立70周年記念事業をはじめ、コロナ感染状況がある程度好転することを前提にして例年通りの事業開催となっております。また現在の世情を鑑みて事務員のテレワーク、在宅勤務対策、Webによる会議、e-ラーニングを含む研修会、Web設備の充実、防災用品整備や感染症対策の強化をしていくため消耗品費を増額しております。詳細は資料をご確認ください。また予算案は3月31日までに作成し理事会の承認を得て、東京都へ提出済みであります、以上報告致します。



岡部議長：あらかじめ提出していただいたご質問・ご意見に関してはホームページ上に回答しておりますので、ここでの説明は省かせていただきます。このまま議事を進めます。

黒田議長：各議案に関しては代議員の皆さまへは郵送、会員の皆さまへは本会会誌6月号に掲載されております。なお代議員へは事前に資料を郵送し、ご質問・ご意見の期間を設け、これに対する回答をホームページに掲載し、書面表決を頂いております。では、第1号議案「2020年度事業報告（案）」の説明をお願いします。

篠原会長：それでは2020年度事業報告についてご説明致します。2020年度は新型コロナウイルスにより全世界において感染者数、死者数が急拡大し、何十億人もの

人々が生活や経済や文化活動などを制限されました。

東京都診療放射線技師会も感染拡大防止への対応として、上半期（4月～9月）の本会（地区開催含めて）、日本診療放射線技師会主催の講習会・勉強会等を全て中止または延期致しました。総会も代議員による書面表決方式とせざるをえませんでした。そのような状況でありましたが、Web方式により、下半期だけでフレッシャーズセミナーとの合同開催3回を含む17回の日暮里塾ワンコインセミナーを開催するなど、会員の皆さまのご理解と、役員・委員の皆さまのご努力に心より感謝を申し上げます。

2021年11月12日～14日に東京ビッグサイトで開催する、第37回日本診療放射線技師学術大会＋第28回東アジア学術交流大会及び第23回アジアオーストラレーシア地域診療放射線技師学術大会の準備も、市川実行委員長を中心に着実に進めていただきました。

他、事業報告総括、事業報告の各項目につきましては、会誌6月号32ページ以下をご覧いただきたいと思います、以上でございます。

黒田議長：あらかじめ提出していただいたご質問・ご意見に関しては、ホームページ上に回答しておりますので、ここでの説明は省かせていただきます。では、採決を行います。総会運営委員会 松本委員長、お願い致します。

松本総会運営委員長：採決の結果を報告致します。



書面表決の有効投票数は59票、反対0票、保留0票、賛成59票です。

黒田議長：松本委員長の報告の通り賛成多数で可決、承認されました。では、第2号議案「2020年度決算報告（案）」、「監査報告」の説明をお願いします。

関経理委員長：第2号議案の2020年度決算報告をさせていただきます。代議員の皆さまには郵送で、会員の皆さまへは会誌6月号に掲載しております。事業報告にもありました通り新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言や再発令、期間延長により上半期の事業及び創立70周年記念事業は全て中止又は延期となりました。

下半期においては日暮里塾ワンコインセミナーや、地区研修会を事業報告の通り開催致しました。また代議員総会、理事会、各種委員会などの会議についても大部分がWeb会議により開催されました。経常収益においては只今説明した諸事業の中止などの影響で、特に研修会事業収益、親睦会事業収益、広告収益が減少致しました。経常費用については、会議費、旅費交通費、印刷製本費、諸謝金などが減少致しました。詳細は資料をご確認ください。当期経常増減額はおよそ4,600,000円となり、次年度以降の事業の実施において微少していくものであります、以上ご審議をよろしくお願い致します。

黒田議長：監査報告をお願いします。

野田監事・葛西監事：それでは2020年度監査報告を致します。私たち監事は2020年4月1日から2021年3月31日までの事業年度の理事の職務執行を監査しました。その方法及び結果について、次の通り報告します。1. 監査の方法及びその内容。各監事は理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し理事及び使用人等からの職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討しました。さらに会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討しました。2. 監査意見として（1）事業報告等の監査結果。（一）事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。（二）理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する事実は認められません。（2）計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果。計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。葛西一隆、野田扇三郎、以上です。

黒田議長：あらかじめ提出していただいたご質問・ご意



見に関しては、ホームページ上に回答しておりますので、ここでの説明は省かせていただきます。では、採決を行います。総会運営委員会 松本委員長お願い致します。

松本総会運営委員長：採決の結果を報告致します。

書面表決の有効投票数は59票、反対0票、保留1票、賛成58票です。

黒田議長：松本委員長の報告の通り賛成多数で可決、承認されました。では、第3号議案「名誉会員推戴の件」の説明をお願いします。

篠原会長：第3号議案、名誉会員推戴についてご説明致します。

本会会員・前会長・現顧問であります中澤靖夫様は、1977年9月に本会入会以来43年以上会員であり、1991年4月～1997年3月まで3期6年総務理事、1997年4月～1999年3月まで1期2年副会長、1999年4月～2011年3月まで6期12年会長を務められました。

また、日本診療放射線技師会では、2010年6月～5期10年間会長に就任され、国民から信頼される診療放射線技師職能の進展、資質の向上、業務範囲拡大、他職種連携、国民医療ならびに斯界の発展に寄与されたご功績はまことに顕著なものであります。

このたび本会理事会において、定款第5条2号に基づく名誉会員推戴に値することを満場一致にて決議致しましたので、第72回定期総会にてご承認いただきたく本案を上程し、ご審議をお願いした次第であります、よろしくお願い致します。



黒田議長：では、採決を行います。総会運営委員会 松本委員長お願い致します。

松本総会運営委員長：採決の結果を報告致します。

書面表決の有効投票数は59票、反対0票、保留0票、賛成59票です。

黒田議長：松本委員長の報告の通り賛成多数で可決、承認されました。以上をもちまして、第72回定期総会の



議事を終了させていただきます。只今をもって議長を解任させていただきます。皆さまのご協力に感謝申し上げます。

鈴木総務委員長：岡部議長、黒田議長、総会運営委員会松本委員長、ありがとうございました。滞りなく審議を終了し、あらためて感謝申し上げます。ここで本日名誉会員に推戴されました、中澤顧問より一言ご挨拶をお願い致します。

中澤顧問：本日、名誉会員に推戴されました中澤靖夫でございます。思い起こしますと1983年に第8地区の地区委員長に就任させていただきましてから22年間、東京都診療放射線技師会の活動に従事させていただきました。この間いろいろな思い出がございますが、本日総会を開催しております日暮里の事務所について多くの皆さんと汗水を流しながら購入できただけが最大の思い出でございます。ご協力いただきました皆さん方に、あらためまして感謝を申し上げたいと思います。今後の期待でございますけれども、東京都診療放射線技師会は47都道府県の中でも最も会員数の多い技師会でございます。日本



のトップリーダーとして、日本診療放射線技師会と連携しながら更なる診療放射線技師職の発展にご努力いただくことを期待したいと思います。本日はご推薦いただき心から感謝申し上げます、ありがとうございます。

鈴木総務委員長：以上で本日の全日程が終了致しました。本会副会長 白木 尚より閉会のご挨拶を申し上げます。

白木副会長：本日はご視聴いただきありがとうございました。代議員の皆さんにおかれましては総会資料に基づいてご精査、ご審議いただきありがとうございました。また、本総会の開催にあたりまして黒田議長、岡部議長、そして松本総会運営委員長をはじめ総会運営委員会の皆さんなど、お手伝いをいただきました皆さんのおかげで無事に開催することができました。

本日の開会の挨拶や報告にてございましたが、本年度は大きな事業がたくさん控えております。繰り返しになりますが、特に11月に開催致します学術大会を盛会にするため、役員一同一丸となり取り組んでいるところでございます。ご視聴されている皆さんにおかれましても、ぜひホームページ等をご覧いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。簡単ではございますが閉会の挨拶に代えさせていただきます、本日はありがとうございました。



鈴木総務委員長：以上をもちまして、第72回公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会を閉会させていただきます、本日はありがとうございました。

以上

公益社団法人東京都診療放射線技師会 第72回定期総会 質問・意見に関する回答

URL : https://www.tart.jp/news/detail/detail_16.html

●質問者：第14地区 河手 健 代議員

〈質問①〉

2020年度事業報告について、総会資料のP37 「3. 放射線機器及び資材の改良に関する事業」について、どのような事を行なったのか？具体的に教えてください。

〈回答〉

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、上半期は事業を中止しておりましたが、日暮里塾ワンコインセミナーを2020年10月よりWeb配信という形で再開することができました。

各研修会の講師として、機器装置メーカー、放射線関連メーカー、診療放射線技師を招聘し多くの有益な情報を会員の皆様に学んでいただきました。それと同時に、受講者からいただいた質問をもとにした議論や、ユーザーから挙がった貴重な意見を講演者（メーカー）に持ち帰っていただきました。

東京都診療放射線技師会として、放射線機器及び資材の改良に関する事業の一環として、各メーカーへ今後の放射線機器及び資材の開発や、現在販売されている製品の改良につなげていただくため、ユーザーとの情報共有、情報交換の場、および情報提供の場ができたと考えております。

医療業界、放射線業界においてもコロナ禍ではありますが、この事業により都民の保健衛生向上に寄与できたと考えております。

〈質問②〉

2021年度事業計画について、総会資料のP19 「2. 普及啓発に関する事業」について、全て開催中止となりましたが、2021年度も開催中止となつた場合に、それぞれの対応策はありますか？

及普及啓発に関する事業」について、全て開催中止となりましたが、2021年度も開催中止となつた場合に、それぞれの対応策はありますか？

〈回答〉

各種イベントに関しては、主催者側が中止判断をしていますので不参加が続いている状況です。また、本会の広報委員会が都民に対して独自イベントを開催することは現状では自粛するべきだと考えます。秋頃には国民のワクチン接種は、ほぼ終了すると思われますが、今年度も大規模集合型イベントの開催は微妙な状況と思っております。

広報活動は都民に「東放技の活動や役割」、「診療放射線技師の業務」、「放射線検査を正しく理解していただく」の普及を主目的としております。普及の場として区のイベントに参加し「乳腺ファントムを使用した触診体験」や「骨密度装置による骨密度検査体験」、「放射線検査に関する質問」等を行っています。

東放技HPも今年度リニューアルされ東放技の活動や役割、診療放射線技師の業務、放射線検査を正しく理解していただく普及活動など、ある程度、情報発信はされていると考えています。

広報委員会は、今後も各種イベントに参加することにより、「都民との交流」と「各地区的放射線技師の交流」を深めるため役割を果たしていきます。新型コロナウイルスが下火になり、イベントが再開された折には、今後も体験型・対話型交流を中心とした、都民の皆様にface to faceの普及啓発を再開させていただきます。

2020年度
特別功労賞・功労賞・労働精励賞(勤続20年表彰)・
小野賞・地域功労賞 受賞者

【特別功労賞】

工藤 年男 春日部市立医療センター

【功労賞】

関 真一 立正佼成会附属佼成病院

【労働精励賞 (勤続20年表彰)】

第4地区	神部 蘭	ホロジックジャパン株式会社
第4地区	永倉 健司	東京慈恵会医科大学附属病院
第6地区	松本 浩治	医療法人社団苑田会苑田第一病院
第6地区	中山 郁恵	医療法人社団関川会関川病院
第10地区	松田紗代子	東京医療生活協同組合 新渡戸記念中野総合病院
第11地区	志田 晃一	東邦大学医療センター大橋病院
第11地区	富岡 英樹	陸上自衛隊朝霞駐屯地医務室
第13地区	伊藤 宏和	医療法人財団川野病院
第13地区	森田 淳一	かわさきクリニック
第14地区	長谷川浩章	国際医療福祉大学
第15地区	原田 崇	帝京大学医学部附属溝口病院

【小野賞】

学術委員会	長谷川浩章	国際医療福祉大学
第3地区	田中 志穂	慶應義塾大学病院
第5地区	菊地 克彦	公益社団法人地域医療振興協会 東京北医療センター
第13地区	首藤 淳	杏林大学医学部付属病院

【地域功労賞 (公益社団法人日本診療放射線技師会 表彰)】

石田 秀樹 昭和大学江東豊洲病院
関 真一 立正佼成会附属佼成病院
浅沼 雅康 東京女子医科大学病院

第1回 食道精密X線検査

JCHO東京山手メディカルセンター 放射線部 鵜沼 清仁

今回より消化管精密検査シリーズとして
数回にわたり解説していきます。第1回は食
道精密X線検査について解説します。

1 | はじめに

消化管の精密X線検査は存在が分かっている病変の病態把握のために行う検査である。標的とする病変が悪性疾患であれば病変の肉眼形態・深達度・浸潤範囲を描出しなければならず、その結果が治療法選択の一つの要因になる。食道精密X線検査で標的となることが多い食道がんは病変の凹凸が極めて軽微な場合があり、造影手技も解剖学的な特徴からバリウムを流すだけで工夫を凝らした撮影技術が少ないため、しばしば病変の描出が困難なことがある。今回、筆者が行っている食道精密X線検査の撮影の工夫と注意点について症例を交えて報告する。

2 | 前処置

検査前日夜9時以降は検査まで禁食とする。検査当日は水・お茶のみとし、濁りのある水分は控えてもらう。検査開始5分前に鎮痙剤を筋肉注射し唾液分泌を抑制する。

3 | 使用機材

①経鼻カテーテル：細径であるほど患者の苦痛が少ないが、高濃度の硫酸バリウムを注入するにはある程度の径が必要である。筆者の施設では

12fr（直径4mm）の胃管カテーテルを用いている。

- ②カテーテルチップ型シリンジ50ml：経鼻カテーテルより硫酸バリウムを注入する際に使用する。
- ③硫酸バリウム：高濃度低粘性バリウムが適している。筆者の施設では上部消化管造影で用いる粉末製剤を200~230%W/Vの濃度で調整し使用している。
- ④X線防護：放射線防護エプロン、放射線防護ガード、放射線防護用メガネ、放射線防護ミットを装着して検査をしている。

4 | 撮影装置

DREX-ZX80/P1（キヤノンメディカルシステムズ株式会社）

5 | 撮影手技の実際

発泡剤を用いる方法

下咽頭から頸部食道の撮影の場合、胃管カテーテルを用いる方法では拡張した状態を保つことが困難であり、また造影剤を注入する際に誤嚥をするリスクが高まるため発泡剤を用いる方法を選択する。またバリウムを服用することで広範囲を造影することができるため、広範囲に拡がる病変の検査には発泡剤を用いて検査を行うほうが良い場合がある。撮影方法は、バリウム服用前に発泡剤5~6gを投与し胃内を膨らませておき、一口ずつバリウムを飲ませながらタイミングよく撮影する。下咽頭～頸部食道を二重造影で描出するためにはバリウムが通過した直後の二重造影を狙わな

ければならないため、Timing Exposureを使用し咽頭の動きを見ながら撮影すると良い。

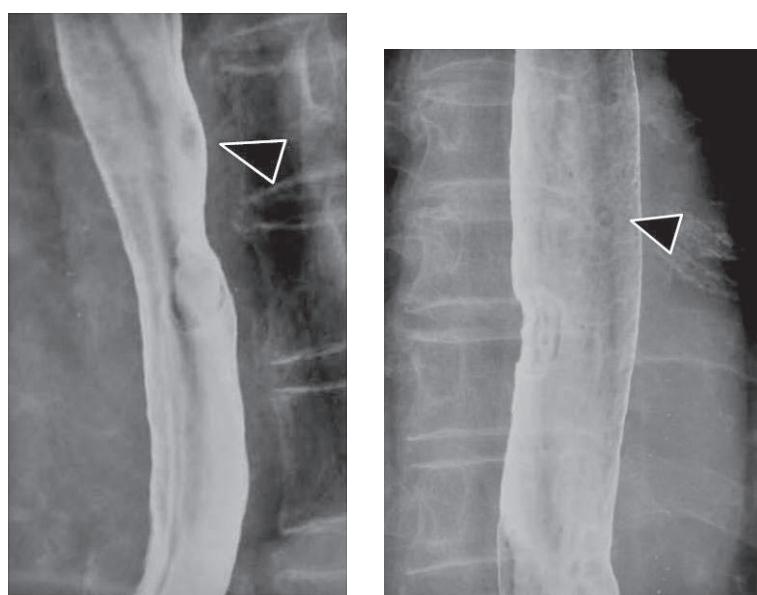
胃管カテーテルを用いる方法

カテーテルから造影剤の注入、送気を行うことで上部食道(Ut領域)～腹部食道(Ae)まで容易に二重造影で撮影できる利点がある。撮影体位は内視鏡像を参考に標的部位の壁在を確認し、標的部位に造影剤が最も流れる体位で、やや半立位(40-60°)に透視台を倒して撮影を開始する。最初に造影剤を注入する際には、食道内に空気がな

い状態で撮影したほうが食道壁全体にバリウムが付着されるので脱気をしてから造影剤を注入する。造影時のシリンジは50mlの容量のものを使用するが、1回の造影で30mlのバリウムと20mlほどの空気を入れ、バリウム先行で注入したあと空気をゆっくりと入れ弱伸展の二重造影像を撮影する。後押しの空気を勢いよく入れてしまうと気泡が発生してしまうので注意が必要である。過伸展造影の撮影は、弱伸展像の撮影をしてバリウムが食道壁に十分に付着してから空気のみ送気し、十分に伸展させてから撮影する。標的部位の正面



図1-a: 空気多量の正面像(左) b: 空気多量の側面像(右)



それぞれ矢印(▲)の位置に透亮像を認める

図1-c: 空気少量でバリウム厚塗り(左) d: 空気中等量(右)

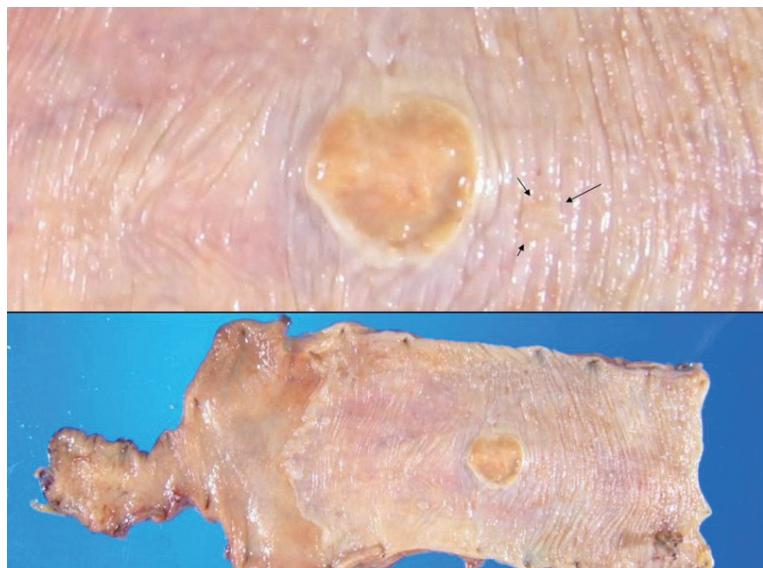
像から撮影し、側面像を撮影する。側面像を撮影するときは、臥位に近い状態では食道壁に弛みが出てしまうことがあるが、正確な側面像が得られにくいことがあるため、臥位よりは立位に近い体位であるほうが良い。正面像・側面像の撮影がおよそ終わったら、その他多方向からの撮影を追加し検査を終了とする。

症例 1

78歳 女性。検診目的に行われた上部消化管内視鏡検査にて食道に異常所見を指摘され精査・加

療目的に当院紹介受診となった。

X線所見：胃管カテーテルを用いて検査を行った。空気多量の正面像（図1-a）では、Mt領域に周辺隆起を伴う陥凹性病変を認める。陥凹面はやや粘膜下の厚みを疑う透亮像を認める。側面像でも陰影欠損を認める（図1-b）。空気少量像でも同様の所見ではあるが、主病変の口側に淡い透亮像を認めた（図1-c、d矢印）。病理検索の結果、壁内転移であった（図1-e、f矢印）。X線像と切除標本の対比をした（図1-g）。



矢印に壁内転移を認める

図1-e：病変部の拡大（上段） f：切除標本（下段）

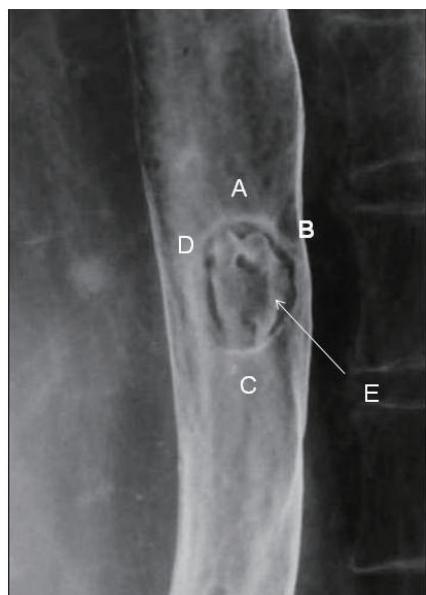
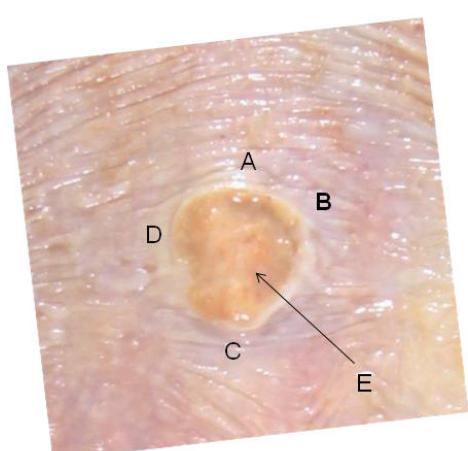


図1-g：切除標本とX線像の対比

症例 2

79歳 男性。検診目的にて行われた上部消化管内視鏡検査で異常を指摘され、手術目的で食道精密X線検査を行った。

内視鏡像では右側壁に潰瘍の形成と、やや前壁側に腫瘍形成を認める（図2-a）。X線撮影では病変部を正面で捉えられる右側臥位からやや腹臥位よりの体位で造影を開始。正面像では食道胃接合部に透亮像を認め、透亮像のやや左に淡いバリウム斑を認めた。更に胃側から雑壁の集中像も認

めた。側面像では矢印で示す範囲に台形状変形を認めた（図2-b）。撮影では正面像ではやや空気小量像で隆起や陥凹、周囲からの雑壁集中の有無を描出することを心掛け、側面像では空気多量像で壁の硬化像の描出を心掛けた。図2-cは切除標本である。食道胃接合部に病変を認める（▲参照）。図2-dはX線像と内視鏡像、マクロ像の対比である。マクロ像はX線像と対比しやすく回転をして提示している（図2-d）。

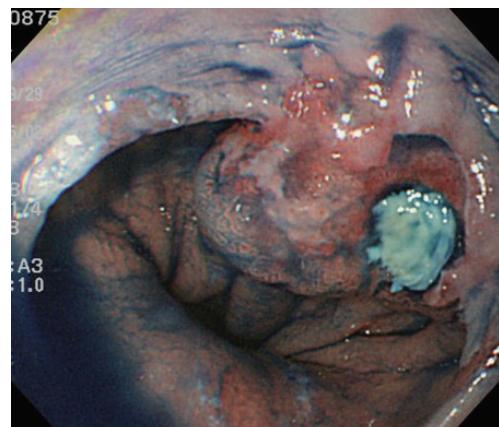
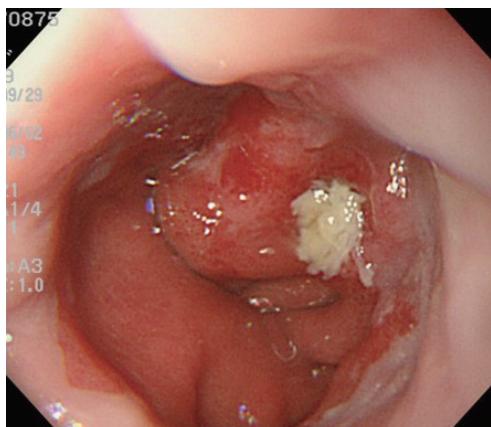


図2-a

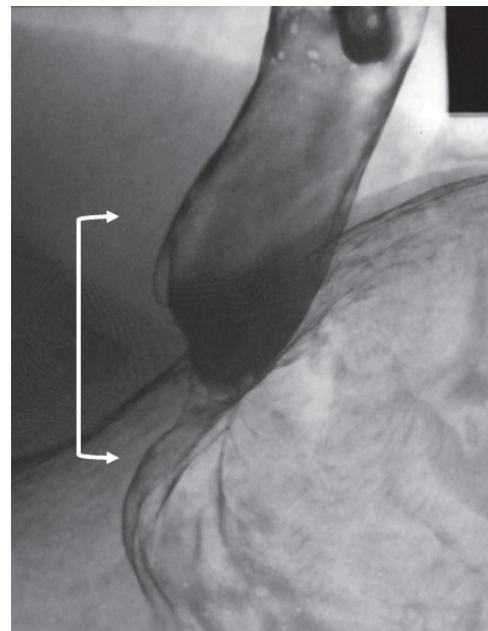


図2-b

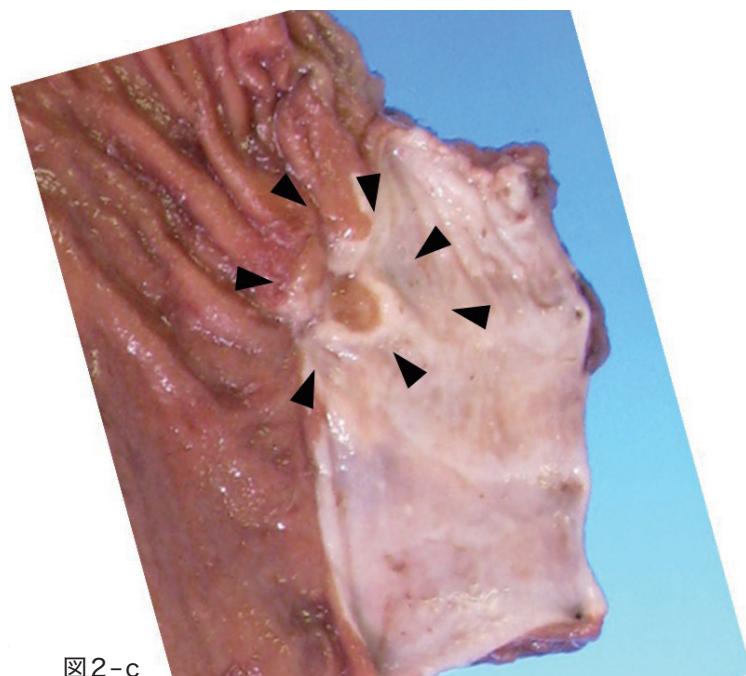


図2-c

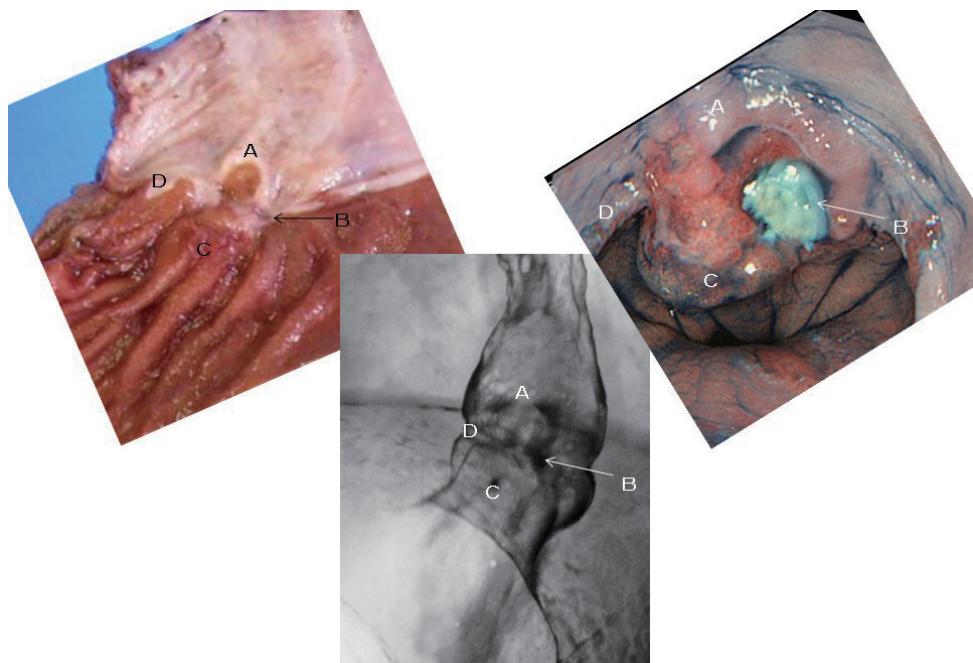


図2-d

6 | まとめ

食道精密X線検査は病変の占拠部位、壁在性、肉眼型などに応じて撮影体位、空気量、流すバリウムの厚さを変えながら病変の性状を描出しなければならない。正確なX線像では病変の性状を画像所見から十分に予測できる¹⁾。しかしながら、X線被ばくを考慮すると丁寧にゆっくり行える検

査ではない。検査前に内視鏡像を確認し、スムーズに検査を行う手順を考えて検査を行うことも重要である。

参考文献

- 1) 加藤久人, 他. I. 診断 2. X線検査による精密診断
a) 造影手技 (2). 胃と腸 30 : 295-298, 1995.

「第122回日暮里塾ワンコインセミナー」に参加して

日本大学医学部附属板橋病院 長内純平

2021年5月30日（日）に診療放射線技師のためのフレッシャーズセミナーおよび日暮里塾ワンコインセミナーに参加しました。今年もコロナ禍ということもありWebでの開催となりましたが、エチケット・マナー講座から始まり、医療コミュニケーション、医療安全および感染対策講座といった医療従事者として必要なスキルだけでなく、胸部X線撮影講座などで診療放射線技師として臨床で働く上で必要な知識を学ぶことができました。

エチケット・マナー講座では、患者さま優位の医療を提供する上で、接遇の5原則「あいさつ」、「態度」、「表情」、「身だしなみ」、そして「言葉づかい」の重要性を学びました。特に言葉づかいは、普段の患者さまと接する際の自分の発言を今一度見直し、正すべきところは正す必要性を感じました。

医療コミュニケーション講座では、相手の意欲や自主性を引き出し、目標達成をサポートするコーチングの有効性を学びました。医療従事者から患者さまに対し、一方的に処置を提供するのではなく、患者さまが自動的に行動を起こせる状況や関係性をコミュニケーションから構築しサポートすることで、円滑に効率的な検査が実施できることを学びました。

また、感染対策講座では、個人防護具の正しい使用法および各種予防策を理解し、それを的確に実施することでコロナ禍でも患者さまだけでなく、検査する側であるわれわれの安全確保につながることを

学びました。

午後は胸部X線撮影講座やCT装置・検査の基礎講座といった、診療放射線技師として働く上で知っておくべき基礎知識に関する講座を受講しました。胸部X線撮影講座では、正常解剖の覚え方や異常所見における注視すべきポイントについてイラストや臨床画像を用いて詳しくお教えいただきました。MRI装置・検査の基礎講座では、基本的原理から検査における安全管理について説明していただきました。MRI検査では、吸着事故や検査における発熱といった、他のモダリティとは違った危険性があることを学び、過去の事故症例を踏まえ、改めて安全管理の重要性を再認識しました。

最後に行われた臨床検査値と画像講座では、検体検査における基準値および正常値について学びました。検体検査にて得られた情報は、検像の際に異常があると思われる臓器の推定に有用であるため、各種数値と臓器の関係性を正確に把握したいと思います。

この度のフレッシャーズセミナーおよび日暮里塾ワンコインセミナーに参加し、診療放射線技師として働く上でのマナーや基礎知識などを学び、非常に有意義な時間を過ごすことができました。今回学んだことを、日々の業務の中に取り入れ、適切に実施することで、患者さまに安全安心な医療を提供していきたいと思います。

こえ

フレッシャーズセミナーに参加して

公益社団法人地域医療振興協会 練馬光が丘病院 坂本莉子

今回、診療放射線技師のためのフレッシャーズセミナーに参加させていただき、ありがとうございました。社会人として必要なマナーから診療放射線技師に求められる知識について学ぶことができました。マナーについてお話を伺い、今一度自分の接遇について見直すきっかけになりました。患者だけでなく、上司や他職種と関わる際にもご教授していただいたことを生かしていきたいと思います。

また、各モダリティについても詳しく講義をしていただけたことで、改めて重要な点を理解すること

ができ、より実践的な知識を得られたと思います。特に実際の臨床画像を用いた講義では、血液検査から得られた値から疾患を予測し、画像を見ながら所見を確認できたことで、疾患とその所見についての知識が深まり、画像所見を意識しながら日常業務に携われるようになりました。

この度はお忙しい中、大変充実した講義をしていただきありがとうございました。今後もさまざまな勉強会に積極的に参加し、技術や知識の向上に努め業務に生かしていきたいです。

FUJIFILM
Value from Innovation

新たな一歩を、
ともに



富士フィルムヘルスケア 始動

2021年3月31日の富士フィルム株式会社への事業譲渡により、
日立製作所の画像診断関連事業は、
「富士フィルムヘルスケア株式会社」として
新たにスタートいたしました。
長年お客様と共に培ってきた技術と
富士フィルムグループ各社との連携により
幅広いラインナップの製品、ソリューション、メンテナンスを提供します。

大胆な発想と果敢な挑戦により、
医療の進化に貢献します。

富士フィルムヘルスケア株式会社

会員動向

2021年4月～6月期

年 月	月末会員数	新 入	転 入	転 出	退 会
2020年度末集計	2,239	97	15	44	145
2021年 4月	2,259	23	5	4	4
2021年 5月	2,270	12	4	3	2
2021年 6月	2,286	20	0	1	3

医療スタッフ随時募集中!!

診療放射線技師・看護師・保健師・臨床検査技師・薬剤師・歯科衛生士・管理栄養士

当社は、これまで数多くの病院・医療機関より要請を承っております。
勤務の内容や時間帯、単発的なアルバイトや転職など、皆さまのご希望にあわせて
お仕事をご紹介致します。

医療スタッフは、随時募集しております。ご友人、お知り合いの紹介も随時受け付けております。

☆ まずはお気軽にご連絡下さい。詳しくご案内させて頂きます。

☆ ご登録・ご相談は無料です。

☆ 健診や外来での撮影業務等、単発からございます。

☆ 受付時間 平 日 9：00 ～ 18：00

株式会社ジャパン・メディカル・ブランチ

フリーダイヤル 0120-08-5801

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西6丁目17番5号 FAX:03-3869-5802

E-mail:info@jmb88.co.jp URL:https://www.jmb88.co.jp

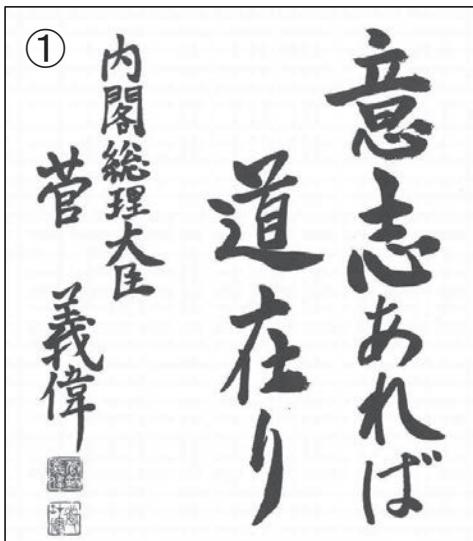
一般労働者派遣事業許可:派13-301371 有料職業紹介事業許可:13-ユ-130023

日本診療放射線技師連盟 2021 No. 6 ニュース (通巻No.63)

発行日 令和3年6月28日
発行所 日本診療放射線技師連盟
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL.03-3102-1127 FAX.03-6740-1913

連盟活動報告

- ① 5月24日(月) 各種団体協議会懇談会 オンライン出席
- ② 6月 8日(火) 加藤官房長官との面談(ワクチン接種の協力体制について)
- ③ 6月 8日(火) 畑元先生活動報告会(WEB開催)
- ④ 6月14日(月) 厚生労働省へタスクシフト・シェアの要望書提出
- ⑤ 6月16日(水) 復興庁との面談(正しい放射線の知識について)
- ⑥ 6月22日(火) 安倍前首相との面談(衆議院選挙及び参議院選挙について)
- ⑦ 6月25日(金) 山口自民党選挙対策委員長との面談(衆議院選挙について)



オンライン参加記念品(色紙)

主催 日本診療放射線技師連盟

③ 診療放射線技師のための 「あぜもと将吾活動報告会」

プログラム
「放射線と政治」
公明党副代表 衆議院議員 斎藤てつお 先生

「診療放射線技師に政治が必要な3つの理由」
日本診療放射線技師連盟 副理事長 中上康次

「あぜもと将吾活動報告」
自由民主党 衆議院議員 あぜもと将吾 先生

6月8日(火) 19:00~

視聴者の皆さまはマイクをミュートにしてください



事務局からのお願い

本連盟の年度は1月から12月となっております。
平成29年第2回理事会において、平成30年度より、会費納入規程が変更となり、年会費が一口2,000円で一口以上となりました。

郵便局備え付けの振込取扱票を使用してお振込みの場合

→ 口座記号・口座番号 00100-2-667669

ゆうちょ銀行に直接お振込みの場合

→ 店名(店番):019 当座預金 口座番号:0667669 加入者名 日本診療放射線技師連盟

日本診療放射線技師連盟 2021 No. 7 ニュース (通巻No.64)

発行日 令和3年7月26日
発行所 日本診療放射線技師連盟
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL.070-3102-1127 FAX.03-6740-1913

連盟活動報告

- ① 7月 1日(木) 岸田文雄と国政を語る会に参加
- ② 7月 7日(水) 畑元将吾活動報告会(WEB開催)
- ③ 7月 8日(木) 宏池会と語る会に参加
- ④ 7月10日(土) 2021年第2回理事会(WEB)を開催
本連盟の活動報告、情報システム報告、会計報告、国政報告
日本診療放射線技師会報告、広島県報告等を行った。
- ⑤ 7月20日(火) 小野寺五典衆議院議員との面談(選挙対策打合せ)



事務局からのお願い

本連盟の年度は1月から12月となっております。
2021年第2回理事会において、年会費は一律2,000円となりました。
また、寄付によるご支援も隨時受け付けております。

郵便局 備え付けの振込取扱票を使用してお振込みの場合

→ 口座記号・口座番号 00100-2-667669

ゆうちょ銀行に直接お振込みの場合

→ 店名(店番):019 当座預金 口座番号:0667669 加入者名 日本診療放射線技師連盟

オンラインセミナーのご案内



人と医療のあいだに…

経鼻栄養チューブ の安全な管理を ふりかえる



参加費
無料 | 先着
300名様

日時 2021年9月25日(土) 14:00~16:00(開場 13:45~)

会場 オンラインセミナー (Zoom)

*お申込み方法等詳細につきましては裏面をご参照ください。

内容 【情報提供】『EDチューブとISO 80369-3について』(株)ジェイ・エム・エス

【開催にあたり】『大分リスクマネジャー交流会について』

末吉 聖二 先生
大分リスクマネジャー交流会(サンドイッチの会Web事務局)

演題Ⅰ:『経鼻経腸栄養チューブ管理の現状と課題』

日衛島 今朝子 先生 医療法人恵愛会 中村病院 医療安全管理室 室長

演題Ⅱ:『経鼻栄養チューブの挿入と管理における活動経緯について』

山元 恵子 先生 公益社団法人 東京都看護協会 会長

演題Ⅲ:『経鼻栄養チューブ関連死亡事例について(事例検討)』

喜田 裕也 先生 光生病院 内科 人工透析部長

演題Ⅳ:『経鼻経腸栄養ポケットガイド[第三版]のご紹介』

末吉 聖二 先生 大分リスクマネジャー交流会

質疑応答

(事前にお受けしたご質問に対して先生方よりご回答いただきます。
ご質問等ございましたら、WEBお申込みの際に「質問とコメント」欄にご記入ください。)

共催

大分リスクマネジャー交流会 / 株式会社ジェイ・エム・エス

オンラインセミナーのお申込み方法

オンラインセミナーへのお申込み方法

下記「個人情報の取り扱いについて」をご確認・同意の上、申込締切日までにお申込みください。
後日、事務局より受付完了及びセミナー参加用URL・パスワード等をご案内させて頂きます。

お申込み
締切日

2021年9月10日（金）

① パソコン等からのお申込み

右記クリック頂きましたとお申込みフォームが
自動的に立ち上がります。

お申込みは
こちらをクリック

② スマートフォン・タブレットからのお申込み

右記QRコードをカメラにて読み込み頂きました
お申込みフォームの画面にアクセスできます。

QRコード



③ 上記①②でのお申込みができない場合

参加お申し込みURL

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_WPolzUeYSvy4qEgJHDAQoA

セミナーのお申込みに関するお問い合わせは、弊社担当営業、または、セミナー運営事務局（hp-sec@jms.cc）まで
お問い合わせ下さい。

ご準備いただくもの

① パソコンまたはスマートデバイス

スマートフォン・タブレット

② インターネット回線

有線をお勧めいたします。

4G・Wi-Fiの無線でも参加可能ですが、セミナーの途中で途切れる可能性がございます。

③ 接続する機器は電源を接続した状態でのご参加をお勧めいたします。

本セミナーにかかる著作権、商標権などの知的財産権その他の権利を侵害する行為及びデータの撮影、録音、録画その他の不正利用を
固く禁じます。

個人情報の取扱いについて

ご入力いただきましたお名前、メールアドレス、勤務先、住所等の個人情報は、ご質問への回答およびご要望の資料のお届けのためのみ使用し、他の目的への使用、

外部事業者への委託、第三者への提供は行いません。

また、個人情報のご記入は任意ですが、不足がある場合、ご質問への回答、ご要望資料のお届けができないことがありますことを予めご了承ください。

なお、個人情報の利用目的の通知、開示、訂正、追加又は削除、利用停止、消去及び第三者への提供の停止に応じます。ご請求は下記問合せ窓口まで
お願ひいたします。

株式会社ジェイ・エム・エス 個人情報保護管理責任者(代理人)並びに問合せ窓口：

●HP-BU営業部長 TEL：03-6404-0601 (9:00～17:00 土・日・祝・夏期及び年末年始休暇を除く)



News

9月号

会長挨拶

本日もお忙しい中、理事会に参集していただき感謝申し上げる。緊急事態宣言が延長となっている中、第一四半期の最後の月で定期総会が開催される。新型コロナウイルスの感染対応のため、2年連続で代議員による書面表決という方式で定期総会が行われることは大変苦しく思っている。昨年の下半期からWeb開催となっている各種事業を含め、役員ならびに会員の皆さまのご理解ご協力に感謝申し上げる。2021年診療放射線技師学術大会まで半年を切り、本日から数え162日後となった。本日も、理事会の中で市川実行委員長より進捗状況等の報告を行っていただく。また、5月21日に国会にて「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」が可決し、10月1日より施行となる。これについて現在、パブリックコメントを募集中であり、7月中旬以降に医政局より通知が出ることである。今後も告示研修等の情報を随時お知らせし、東京都診療放射線技師会として協力や連携を推進していきたいと考えている。

理事会定数確認

出席：20名、欠席：0名

前回議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

日 時：2021年6月3日（木）
午後7時00分～8時00分

場 所：インターネット回線上

出席理事：篠原健一、白木 尚、麻生智彦、石田秀樹、江田哲男、鈴木雄一、野口幸作、関 真一、竹安直行、浅沼雅康、高野修彰、市川篤志、宮谷勝巳、渡辺靖志、市川重司、平瀬繁男、原子 満、鮎川幸司、関谷 薫、長谷川雅一

出席監事：野田扇三郎、葛西一隆

指名出席者：増田祥代（第1地区委員長）、島田 諭（第2地区委員長）、小林隆幸（第4地区委員長）、中田 健太（第5地区委員長）、伊佐理嘉（第6地区委員長）、中西雄一（第8地区委員長）、西郷洋子（第9地区委員長）、澤田恒久（第10地区委員長）、千葉利昭（第11地区委員長）、小野賢太（第12地区委員長）、村山嘉隆（総務委員）、青木 淳（総務委員）、新川翔太（総務委員）

欠席理事：なし

欠席監事：なし

議 長：篠原健一（会長）

司 会：麻生智彦（副会長）

議事録作成：村山嘉隆、青木 淳、新川翔太

報告事項

1) 会長

・活動報告書に追加なし。

学術大会については5月24日に、日本診療放射線技師会との合同会議を行った。

2) 副会長

白木副会長

・活動報告書に追加なし。

5月17日から24日までJART第83回定時総会代議員大会をオンライン形式で開催した。本総会報告事項および議事について質問意見はなく適切に運営されているという見解が示された。

麻生副会長

・活動報告書に追加なし。

3) 業務執行理事

総務：鈴木理事

・活動報告書に追加なし。

経理：関理事

・活動報告書に追加なし。

庶務：野口理事

・活動報告書に追加なし。

4) 専門部委員会報告

・活動報告書に追加なし。

5) 各委員会報告

・活動報告書に追加なし。

6) 地区委員会報告

- ・活動報告書に追加なし。

議　事

1) 事業申請について

①第19回サマーセミナー（Web開催）

テーマ：心疾患－最近のトレンド－

日 時：2021年8月28日（土）15時00分～17時00分

場 所：東京都診療放射線技師会研修センター

【承認：20名、保留：0名、否認：0名】

②第6地区研修会（Web開催）

テーマ：第6地区ミーティング 夜会2021

日 時：2021年8月28日（土）22時00分～22時40分

場 所：Web配信

【承認：20名、保留：0名、否認：0名】

2) 新入退会および会費減免について

5月：新入会12名、転入4名、転出3名、退会2名
上記について審議した。

【承認：20名、保留：0名、否認：0名】

地区質問、意見

第3地区

- ・今回、「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律案」が衆参可決により改正になり告示研修が始まるが、今までの統一講習会との位置づけはどうなるか？
統一講習会が開催されるのを待っている技師もいるが告示研修に重きを置いて開催していくのか？ また告示研修を受けければ抜針をしてもいいのではないかとの意見もある。

当然、両方受講をするのが当たり前と思うが日本診療放射線技師会、東京都診療放射線技師会の見解を教えていただきたい。

篠原会長：

以前に行われた統一講習会は任意で、今回の告示研修は必須との位置づけで日本診療放射線技師会としては両方開催したいとしている。また、統一講習会を受講している方を優先的に告示研修の申し込みができるようにするとしている。その方法については日本診療放射線技師会から隨時発表されると思われる。抜針についても任意の研修と告示研修でそれぞれ何ができるようになるなど、これから具体的に話が出てくる。

第8地区

- ・第37回日本診療放射線技師学術大会の各地区への動

員要請はいつごろから行われるのでしょうか。またオンライン開催等の開催方法の変更について最終判断はいつごろになるのでしょうか。

市川（重）学術大会実行委員長：

動員要請については7月に演題の作業に入っていくので次回の実行委員会で提案する予定である。6月末から7月くらいにかけて各地区の方にお願いする計画でいる。感染拡大でWebにて行う場合も考えながら進めているが、判断基準についてはまだ決めかねており明言できないでいる。

連絡事項

市川（重）教育委員長：

フレッシャーズセミナー開催へのご協力感謝申し上げる。1回目の参加者が43名、2回目の参加者が42名である。6月13日の3回目も定員30名を超え、延べ120名に達し、これまでに最も多い参加人数となっている。アンケートの結果は東京放射線に掲載予定である。

市川（篤）学術委員長：

5月13日の合同学術講演会東京支部との打ち合わせについて、来年の2月に合同学術講演会を開催予定と話が進んでいる。

浅沼編集委員長：

TARTの次号会誌は7月・8月合併号となる。急ぎ掲載される原稿があれば連絡をお願いしたい。

野口庶務委員長：

総会運営委員会で各代議員に書面表決のお願いをしている。また頂いた質問の回答をホームページに掲載している。各代議員は回答を確認し、書面表決を郵送していただくことになっている。各地区委員長は各代議員の方に書面表決を期日内に送ってほしいという旨を伝えていただきたい。

市川（重）学術大会実行委員長：

5月末が第37回日本診療放射線技師学術大会の演題募集の締め切りであったが、6月15日（火）正午まで募集期間を延長した。東京都からは68演題集まっている。演題応募の促進を再度お願いする。

また、6月で協賛が終了する。現在、31社から44項目の協力をいただき約600万円集まっている。目標額は1,400万円であり、各社のHPの問い合わせフォームからお願いを続けている。皆さまの取引先で協力していただけそうなところがあれば、情報をいただきたい。

近いうちに実行委員会を開催予定。議題は会場の人員の配置について。7月にはプログラム委員会で演題の採択を行う。引き続きご協力をお願いする。

会場に海外のAACRTとEACRTの演題が閲覧できるブースを設ける予定。入場は海外学会受付者限定。野口副実行委員長に窓口をお願いする予定。東放技でまとめて申し込むと学会費が150ドルから125ドルになる。費用のことも含めてAACRTとEACRTの案内メールをする。

渡辺理事 :

演題募集期間は6月15日まで延長されたが、プログラムを決定する期限は遅らせることができないので、演題採択の確認期間が短くなってしまう。現在、十数名で演題採択確認を行う予定であるが、地区委員

長の方で演題採択確認をやってみたい方がいればご協力をお願いしたい。(オンラインでの確認システムが構築されている)運営メールで連絡をするので、ご協力いただける方は返信をお願いする。

高野涉外委員長 :

Network Nowへ掲載する、城東支部委員会からの原稿は6月15日に締め切り。

鈴木総務委員長 :

7月の理事会の次は9月になるので事業申請などがあれば、早めに予定を立てていただき、7月の理事会での提出をお願いする。緊急時の場合はメール会議開催の検討をする。

以上

お家時間で留学してみた

数年前に始めた中国語、特に熱心にやっている訳ではなく、呑気に気の向いた時だけの勉強なので当然上達する訳もなく、いつまでたっても特技ではなく趣味。

そのような中、中国の大学のオンライン留学なるものを知り、興味本位で入学してみました。当然全て中国語、最初は何を言っているのかさっぱり分からず、自分の名前が呼ばれていることすら気付かない状態でしたが、後半は耳が慣れるもので大体こういう事を言っているのだろうなと分かり、毎日中国語を聞くというだけでも凄いものだなと感じました。

留学と銘打っているだけに中国語の授業だけでなく文化体験、課外授業などもあります。文化体験では実際に提灯を作ったり、書道、水墨画を書いたりして楽しい時間を過ごし、課外授業では現地の大学の学生さんが日本語で観光スポットや大学構内などを案内してくれて、中国の若者もがんばっているなど感じました。

さて、この留学は誰でもできます。一番若い子で中学生、私の親以上の歳くらいの人もいて、そんな中で同じ目標を持って学ぶというのは大変刺激的でした。当初の目的は中国語の上達でしたが、若い人達の一所懸命な姿、私より年上の人達の学ぶ姿、このような光景を目にして「学ぶ」ということに年齢は関係ないのだということが今回の留学で一番得たものでした。これからは趣味から特技へとなるように本気で学んでいこうと思えたことが今回の留学で得た一番大きなものでした。加油！

fu4wan2

News

9月号

日 時：2021年7月1日（木）
午後7時00分～8時30分
場 所：インターネット回線上
出席理事：篠原健一、白木 尚、麻生智彦、石田秀樹、
江田哲男、鈴木雄一、野口幸作、関 真一、
竹安直行、浅沼雅康、高野修彰、市川篤志、
宮谷勝巳、渡辺靖志、市川重司、平瀬繁男、
原子 満、鮎川幸司、関谷 薫、長谷川雅一
出席監事：野田扇三郎、葛西一隆
指名出席者：増田祥代（第1地区委員長）、島田 諭（第2地区委員長）、小林隆幸（第4地区委員長）、中田 健太（第5地区委員長）、伊佐理嘉（第6地区委員長）、中西雄一（第8地区委員長）、西郷洋子（第9地区委員長）、千葉利昭（第11地区委員長）、村山嘉隆（総務委員）、新川翔太（総務委員）
欠席理事：なし
欠席監事：なし
議 長：篠原健一（会長）
司 会：白木 尚（副会長）
議事録作成：村山嘉隆、新川翔太

会長挨拶

本日もお忙しい中、理事会に参集していただき感謝申し上げる。本年度は学術大会だけではなく70周年記念事業などでもご苦労をお掛けするが、8月前に協議して下半期につなげたいので協力をお願いしたい。本日で2021年診療放射線技師学術大会まで134日になる。

理事会定数確認

出席：20名、欠席：0名

前回議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

報告事項

1) 会長
・活動報告書に追加なし。

2) 副会長
白木副会長
・活動報告書に追加なし。

6月5日に行われたJART第83回定時総会について
は、報告書を会誌に掲載したので確認をお願いする。

麻生副会長
・活動報告書に追加なし。

3) 業務執行理事
総務：鈴木理事
・活動報告書に追加なし。

経理：関理事

・活動報告書に追加なし。

庶務：野口理事

・活動報告書に追加なし。

4) 専門部委員会報告

・活動報告書に追加なし。

5) 各委員会報告

・活動報告書に追加なし。

6) 地区委員会報告

・活動報告書に追加なし。

議 事

1) 事業申請について

①第13地区研修会（Web開催）

テーマ：医療被ばくに関する説明（被ばく相談）の現状

日 時：2021年12月1日（水）19時00分～20時30分

場 所：Web

状況次第で参加型で行いたいが、現段階ではWeb形式での申請をしている。9月の理事会で開催形式の再承認を願いたい。

【承認：20名、保留：0名、否認：0名】

2) 超音波スクリーニング研修講演会後援及び名義使用
申請について

上記について審議した。

【承認：20名、保留：0名、否認：0名】

3) 事務所照明更新について

蛍光灯の生産終了に伴いLEDに交換。

上記について審議した。

【承認：20名、保留：0名、否認：0名】

4) Zoom契約について

野口庶務委員長：

今までZoomプロの契約で行っていたが、セミナー形式、講習会形式ができるWebinarライセンスを契約し、Zoomのライセンスを地区にも使用できるように本部用、地区用に2つ契約を行う。今後の運用については地区支部にも使えるように検討している。

上記について審議した。

【承認：20名、保留：0名、否認：0名】

5) 70周年記念事業実行委員会について

鈴木総務委員長：

コロナ禍で70周年記念事業が延期されたが、記念誌作成のために特別実行委員会の設置をお願いしたい。

上記について審議した。

【承認：20名、保留：0名、否認：0名】

6) 國際委員会について

鈴木総務委員長：

現在、韓国ソウル市放射線士会と学術協定を結んでいるが、それを含め今後、国際的なやり取りを考えて委員会設置をお願いしたい。

上記について審議した。

【承認：20名、保留：0名、否認：0名】

7) 新入退会について

6月：新入会20名、転出1名、退会3名

上記について審議した。

【承認：20名、保留：0名、否認：0名】

地区質問、意見

第16地区

・告示研修は、技師会会員・非会員で、受講料に違いがあることは理解できましたが、参加登録方法に優劣はありますか。技師会会員が優先的に受講できるようお願いします。

JCRTの地区からの実行委員への協力依頼は、9月初旬には案内がありますか。よそで構いませんので、ご教示いただけますか。

篠原会長：

告示研修に関して、6月28日に日本診療放射線技師会より説明会が行われた。事前の説明等も含め、野口

理事から報告してもらう。

野口庶務委員長：

詳細に関しては、日本診療放射線技師会のホームページに特設サイトがあるのでご覧いただきたい。今回の告示研修は、医師の働き方改革の一環として、医師および看護師の業務をシフトあるいは共有するという目的である。告示研修の合計受講費は会員が1万円、非会員が3万円となる。これは臨床衛生検査技師会、臨床工学技士会と統一されている。告示研修の流れとして、まずオンデマンドによる基礎研修を受講後、Web上にて確認試験を行う。基礎研修の受講費として会員は無料、非会員は1万円である。現在の予定では7月31日より開始される。その後JARTISにて実技講習受講料納入後、実技講習が受講可能となる。現在の予定では10月から実技講習が開始される。実技講習受講料は会員が1万円、非会員が2万円である。2015統一講習会受講済みの者は、実技講習を1週間先行して受講することができる。実技講習の講師は医師2名と看護師1名を配置し、ファシリテータとして診療放射線技師を5、6名配置する。ファシリテータ養成講座を日本診療放射線技師会直轄にて8地域で実施する。実施時期は8月21日から9月26日までとし、2015統一講習会受講済み、かつ告示研修の基礎研修修了者とする。ファシリテータ養成講座の初日(土曜日)は告示研修の実技研修、2日目(日曜日)はファシリテータのための研修とする。ファシリテータ養成講座は一般公募せず、地域理事経由の受付のみとする。東京都を含めた南関東地域理事は篠原会長である。また、6月28日の説明会で質問があったが、造影剤注入装置を接続する行為は、手押しによる造影剤注入のための接続する行為も含まれるとのことである。

篠原会長：

日本診療放射線技師会会員と非会員との差別化を懸念する声があるが、今回の告示研修は全ての診療放射線技師が対象となるためご理解をいただきたい。

鮎川第13地区委員長：

JCRTの実行委員協力依頼に関して、人員配置が地区委員だけでは賄えない状況である。地区委員以外の会員あるいは非会員、他の施設にも協力を依頼する必要があるのか伺いたい。その際、技師会からお願い状等を発行していただくことは可能か。

市川(重)学術大会実行委員長：

現時点で人員配置が不足している場合はその状況で提出していただき構わない。他の地区で補填できる

可能性もある。現状では会員の方のみで、非会員の方に協力依頼する必要はない。

野口庶務委員長：

実行委員に任命された方には実行委員会から委嘱状を発行する。

連絡事項

石田70周年記念事業実行委員長：

70周年記念誌に関して、年末には完成させたいと考えており、8月中には各地区委員会より原稿をいただきたいと考えている。原稿のフォーマットを今後送付するので、作成をお願いしたい。

伊佐第6地区委員長：

高橋前6地区委員長よりこの件に関して引き継ぎを受けていないが、確認する必要がないのか。

石田70周年記念事業実行委員長：

在任の地区委員長にも原稿をお願いしたいと考えている。再度原稿のフォーマットを送付する。

浅沼編集委員長：

70周年記念式典は新型コロナウイルスの影響で中止となり、記念誌の原稿依頼も一度風化してしまった。この度記念誌を発行するに当たり、理事会で実行委員会を承認していただいたという経緯がある。来週の編集委員会で原稿のフォーマットを審議し、決定したものを皆さんにご連絡させていただく。まず皆さんにこの10年間の原稿を構想していただきたい。

鈴木総務委員長：

新型コロナウイルスの影響で事業が実施できない中、新たに就任した地区委員長が原稿を書くのは難しいのではないか。

白木副会長：

70周年記念事業実行委員会で検討された執筆原稿のフォーマットおよび内容を専門部に提案し確認後、各地区委員長に原稿依頼することとする。

千葉第11地区委員長：

告示研修のポスターを配布していただくのは可能か

確認したい。

野口庶務委員長：

数に限りがあるので、ポスターが発送可能か検討する。

市川(重)学術大会実行委員長：

演題登録数は360演題であった。Web演題は当初88演題であったが、110演題を超えたため、今後日本診療放射線技師会とプログラムを調整する。協賛の金額は1,400万円に達した。今後は演題の採択を7月前半に行い、7月中旬から座長の選考を行う。8月より演題発表の詳細なプログラムを作成し、抄録が完成次第、浅沼編集委員長の下で9月より印刷を行う予定である。また、各地区より実行委員を現在募集中である。皆さまのご協力をお願いしたい。詳細は後ほどご連絡させていただく。実行委員は決定次第、ご連絡いただけると幸いである。今後参加登録が控えているが、2,000人を目標としているのでご協力をお願いしたい。

小林第4地区委員長：

告示研修のタスクシフトに関わるシンポジウムが一般研究発表と重なっているが、オンデマンド配信等の確認または検討をしていただきたい。

市川(重)学術大会実行委員長：

後日オンデマンド配信は行う予定である。プログラムを消化する上で重複するのは致し方ないので、皆さまのご理解ご協力をお願いしたい。

白木副会長：

後日オンデマンド配信サービス等、その他にも新しい学術大会のあり方を提案できたら良いと考える。

今後の予定について（総務委員会）

8月の理事会は開催されないが、7月および8月の専門部委員会は行われる。急遽事業申請等が必要な場合はメール会議やWeb会議等で対応する。

以上

公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修会等申込書

研修会名	第 回	
開催日	令和 年 月 日() ~ 月 日()	
会員/非会員 (必須)	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 一般 ※ 日放技会員番号(必須) [] <input type="checkbox"/> 新卒かつ新入会の方はチェック	
所属地区	第 地区 または 東京都以外 [] 県	
ふりがな		
氏名		
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	
連絡先	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 施設 ⇒ 施設名 []	
	TEL (必須)	
	FAX	
	メール (PCアドレス)	
備考		

FAX 03-3806-7724
公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所

登録事項変更届

公益社団法人東京都診療放射線技師会 殿

公益社団法人日本診療放射線技師会 殿

会員番号			
氏名	印		
氏名(カタカ)			
性別	男性 · 女性		
生年月日	昭和	平成	年 月 日生
メールアドレス			

下記のとおり、登録事項の変更をお願い申し上げます。

 氏名の変更

改姓(変更後の氏名)	
------------	--

 送付先変更

現在の送付先	勤務先 · 自宅
新送付先	勤務先 · 自宅

 住所等の変更

新勤務先	勤務先名	部署
	勤務先所在地	〒 -
	電話	
旧勤務先		
新自宅	現住所	〒 -
	電話	
旧自宅住所		

 その他

通信欄	
-----	--

受付
確認

令和 年 月 日
令和 年 月 日 印

Postscript

あ る初夏の昼下がり、南側の窓を開けようとすると耳慣れない音がした。ぱちぱちぱち…薄いものの同士がぶつかり合うような音である。いったい何だろう？ 音のする窓枠の上方を見ると、小さな蜂の巣があり、1匹の蜂がいた。身近で蜂を見かけたら、まずは種類を特定する必要がある。なぜなら蜂は種類によって性質や危険度が違い、対処法も変わってくるからである。日本に生息する蜂の種類は4,000種以上ともいわれており、人を刺すことのある蜂として有名な「スズメバチ」「アシナガバチ」「ミツバチ」の他にも危険性の低い蜂も多数生息している。どうやら、うちの蜂はセグロアシナガバチのようだ。わが家は彼女たちにとって優良物件らしく、以前にも巣を作られたことがあった。前回は家族に駆除をしてもらったが、今回はまだ女王蜂のみの小さな巣なので私でもできるかもしれない。そう思い、早速インターネットで方法を検索した。

今回、参考にしたのは、とある地方自治体のホームページである。アシナガバチ属は基本的におとなしく、巣を刺激しなければ人を攻撃することはないそうで、自然界では農作物や庭木に付く毛虫やイモムシを食べたり、花粉を媒介するなど益虫として役立っている。4月から5月に女王蜂が

単独で巣をつくり始め、6月より働き蜂が羽化して共同生活をする。その後、巣は急激に大きくなり、働きバチの数も増え、8月から9月に最大となる。

さて、肝心の駆除方法であるが「基本的におとなしいハチですので、巣を刺激しなければ刺されることはできません。生活に支障のない場所に巣ができる場合は、冬になりハチが入りしなくなるまでそっと見守ってあげるようにしてください」…まさかの見守りの推奨。巣があるのは2階の軒下のため、私以外に巣を刺激する人はいない。近所の子供が蜂に刺される危険性も低そうである。そんなわけで今回は温かく見守るという選択をしてみた。

今は晩夏。女王蜂・ママがたったひとりで作り始めた帝国は、現在、育房数が100にも満たないながらも小さな帝国へと成長した。彼女に加え、7匹の娘たちがかいがいしく妹たちのお世話をしている（働きバチは全てメス）。冬になれば女王陛下は崩御し、帝国も消滅であろう。ここから新しい女王蜂が生まれるのかな。そう思いを馳せつつ、来年は巣を作られないように気をつけようと心に誓うのであった。

〈Chai姉〉

■ 広告掲載社

富士フィルムメディカル(株)
コニカミノルタジャパン(株)
キヤノンメディカルシステムズ(株)
富士フィルムヘルスケア(株)
(株)ジャパン・メディカル・プランチ
日本メジフィジックス(株)

東京放射線 第68巻 第8号

令和3年8月25日 印刷（毎月1回1日発行）

令和3年9月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号

〒116-0013 公益社団法人東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人東京都診療放射線技師会

会長 篠原健一

編集代表 浅沼雅康

振替口座 00190-0-112644

電話 東京（03）3806-7724 <https://www.tart.jp/>

事務所 執務時間 月曜～金曜 9時30分～17時00分

案内 ただし土曜・日曜・祝日および12月29日～1月4日は執務いたしません

TEL・FAX （03）3806-7724

編集スタッフ

浅沼雅康

内藤哲也

岩井譜憲

森美加

高橋克行

田沼征一